

平成 26 年度長久手市市内一斉防災訓練の結果について

1 訓練方針

市内で、震度 6 強の地震が発生したとの想定の下、会場（小学校）ごとに住民が主体となり防災関係団体、市職員が協力し一斉に訓練を実施する。

○ 今年度の重点項目

- (1) 避難行動要支援者への対応
- (2) 大学生ボランティアとの連携
- (3) 参加者体験型訓練の充実

2 防災訓練開催日時

平成 26 年 11 月 16 日（日） 9 時 00 分から 10 時 30 分
（会場によっては 11 時 00 分までのところあり）

3 訓練会場

市内 6 小学校（長小、西小、東小、北小、南小、市が洞小）

4 参加者数

学校名	今年	昨年	増減
長小	804人	991人	-187
西小	346人	294人	+52
東小	283人	400人	-117
北小	464人	587人	-123
南小	584人	425人	+159
市が洞小	443人	269人	+174
合計	2,924人	2,966人	-42
参加団体	284人	228人	+56
職員	141人	133人	+8
総計	3,349人	3,327人	+22

5 重点項目の実施状況

(1) 避難行動要支援者への対応

地区の民生委員児童委員から校区代表の民生委員へ報告があり、その結果を会場本部まで伝達することができた。また、肢体不自由児等が実施に訓練に参加するため学校を訪れたがバリアフリーになっておらず体育館に避難するには支援者なしでは実施できないという問題点を把握できた。

(2) 大学生ボランティアとの連携

愛知淑徳大学のバッククッキング、愛知医科大学看護学生による健康チェック訓練を実施し自治会役員、保健師等との連携を図ることができた。

(3) 参加者体験型訓練の充実

参加者が訓練を楽しみやすくするためのスタンプラリーの導入、自治会による被害情報収集訓練、自衛隊の給水訓練等昨年より充実していたが会場によってはPRの仕方が悪いこともあり、思ったほど参加してもらえなかったものがあった。

6 検証会での意見

(1) 昨年に比べ全般的には自治会連合会等、参加関係機関が積極的に防災訓練に取り組んで頂き多くの成果を得ることができた。

(2) 今後は、学校職員の参加・連携をお願いしたい。

(3) 訓練に市のボランティアセンターの参加のみでなく、市社会福祉協議会の参加をお願いしたい。

(4) 防災訓練は共助を中心とした訓練であるが、まずは自助についての啓発が必要

(5) 市民の中には公助しか考えていない方もいる。災害時、市民はお客様ではないため、自助、共助の啓発を進める必要がある。

(6) 防災行政無線のサイレン、音声が届かなく対応について検討してもらいたい。

7 来年度の防災訓練の日時

平成 27 年 11 月 15 日（日）